

すぎのこ

128

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2012 10/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
新館研修センター：〒357-0063 埼玉県飯塚市飯塚325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
旧館研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡清原村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2面・3面 事務局よりご挨拶／
園からの声／賛助会のご案内／
会員の方からのお便り ほか
4面 新人紹介／新案内／研修
センターのご案内 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: support@suginoko.org

ナマの舞台の感動を子ども達へ

巡回公演だより

いよいよ2学期の巡回公演が始まりました。日本全国、その土地土地の自然や子ども達と触れ合いながら、俳優たちは子ども達の笑顔と出会うために、感動の舞台を届けます。

「たのきゅうのうわばみだいじ」班

太田 令

後輩を連れて班責として1年と約半年。最近になってやつと芝居中に周りに気を配ることが、少しできるようになったかな？と、思えます。

去年も同じ作品を演じていたのですが、今年は3人。去年は2人。さらに去年は1人で9役をこなすという、かなりハードな芝居を演じていました。しかし、今年は4役。他のメンバーの芝居が見られる余裕ができました。

そうすると不思議なことに、メンバーの芝居だけではなく、自分の芝居も以前より自己判断できるようになりました。

今までは自分の成長に関しては、全く実感を持てなかったのですが、今回は自分でも成長を



感じ取ることができません。少しずつですが、この「たのきゅうのうわばみだいじ」のことが分かってくる感じがします。

しかし、慣れてくると芝居が崩れてきてしまうので、しっかりと自分の演技というものを追求して行きたいです。またその中でも、周りをしっかりと見えるよう心掛けたいです。

「ねずみの嫁入り」班

野見山 大輔

「ねずみの嫁入り」班2学期巡回は、新潟から始まりました。田んぼばかりの景色が多い新潟ですが、その田んぼばかりが美しい。稲穂が頭を垂れる姿を見るだけで、おなか空いてきます。特に今年は豪雪だったらしいから、雪解け水がたっぷり流

れ込んで、美味しいんだろな。まだまだ残暑が厳しいと言いつつも、確実に秋は近づいてきています。「小さい秋見つけたよ」なんて歌もありました。微妙な変化を感じるのが何よりの喜びです。

「どろぼうのなみだ」班

岡部 千絵

土地土地の小さな秋を見つけながら、時には司会でその小さな秋をネタに子ども達と対話し、旅回り稼業を楽しんでいます。

私たちは今、九州をまわっています。今年には暑い日が続いていますが、子ども達は元気で明るい！時にそんなパワーに負けそうになりますが、それを私たちのエネルギーにしていこうと、毎日頑張っています。

今回のお話も子ども達はよく見てくれて、楽しんでくれて、喜んでくれていてます。公演中にすごく笑ってくれたり、参加してくれたら、こちらも楽しませてもらっています。

もつともつとたくさんの人達（大人も子どもも）に見てもらいたいと思います。特におじいちゃんやおばあちゃんや養護学校の子ども達にも見てもらいたいです。私たちの作品だけでなく、

他のいろんな作品も、いろんな人に見てもらいたいです。以前は、結構養護学校の子ども達にも見てもらっていたのですが、なかなか難しいのでしようか。最近はずっと寂しい気持ちです。私は少し寂しい気持ちです。養護学校の子ども達にもたくさん見てもらいたいし、いろんな話に触れてもらいたいと思っています。

今後そんな機会が来ることを期待しつつ、一回一回を大切に良いものを届けていけるよう頑張っていきたいと思っています。

「ドードー」班

榎本 均

ある公演のことを回想する。年長の女の子だった。話の最後、海に落ちたドードーをケンタが助けようとするが、ドードーは流されてしまうシーンで、突然、大きな泣き声がひびいた。まさに不意打ちの号泣、一瞬、何もかもが止まったような感覚になった。

主人公はドードーとケンタ、鳥と人、そしてみんなと同じ子



ども。もちろん、キミたちも主人公。ドードーとケンタが出会い、遊び、笑ったりケンカしたり、友達になった二人が別れる、いなくなる。

そんな理不尽な悲しみが女の子の小さな胸をゆさぶったのか、地球(環境)を守る、ふたつの小さな命は戸惑い、怒り、憎しみ、そして希望。宇宙へ飛び上がったドードーとケンタは、丸い、美しい地球を見る。

もしかしたら、その女の子も、自分の心の中に虹色のシャボン玉のような丸いものを描いたのだろうか。

それは想像にまかせるしかない。観劇している子ども達の笑ったり泣いたりする反応の、その言葉を、私たちは心のどこかに感じなければと思う。

見聞というのがある。確かな言葉にならないけど、「みきき」することで自分なりの言葉になる。目は口ほどにものを言う。耳も、また然り。そう、子どもは、よく見て聞いていて、たえず珠玉の言葉を培っているのだと、それこそ口では言えないほどの言葉なのだろうから。



人形劇観劇会

制作・白石高章

ここはどこでしょう？ 実は、財団事務所は東京の池袋にあるのですが、俳優や制作スタッフは、埼玉県の飯能市というところにある「すぎのこ飯能研修センター」で日々、稽古や裏方の仕事に励んでいるのです。

ここで8月26日の日曜日、全国公演に旅立つ前の最後の人形劇のお披露目がありました。今年も猛暑が続くとも暑い夏でしたが、愛知県豊橋市の「省エ

事務局より 御挨拶



「すぎのこ」が新公益財団法人に移行認可され、早くも一年が過ぎました。更に平成26年8月1日には創立50周年の大きな節目が控えており、スタッフ一同毎自身の引き締まる思いで活動に取り組んでおります。

「どの子にもナマの舞台の感動を」という理念のもと、私どもは日本で初めて、幼稚園・保育園を主とした人形劇全国巡回公演のシステムを確立しましたが、今日ではいくつもの商業劇団や優れたアマチュア劇団が現れ、同種の活動を展開しています。人形劇が広く一般の方々に受け入れられ発展を続けることを

ネ大集会「みんなで一所に集まって、各家庭でのエネルギー消費を抑える取り組み」にならって、地域の方々やお客様を無料で招いて、みんなで涼んでみんなで省エネ、もちろん楽しい人形劇で夏の思い出作り！ という楽しいイベントになりました。

当日は、赤ちゃん連れの方、近所の子ども達、賛助会の方、卒業していった元劇団員、普段ツアーに出ていて、なかなか晴れ姿を見ることができない劇団員のご両親やご家族、ママ友の口コミや回覧板を見てくださった方、合わせて50名以上の方々が来ていただきました。

本当に嬉しく思う反面、安易な人形劇も増えてしまい、それが観劇する皆様の人形劇全体の評価に少なからず影響を与えている現実も、我々演じる側の責任とはいえ残念でなりません。

「すぎのこ巡回人形劇場」は、作品の選定から脚本・人形と舞台製作・演出・上演まで、それぞれ専門のスタッフが何度も検討と創意工夫を重ねて制作し、皆様へお届けしています。芸術の探求に「終わり」や「これが最高」ということはありませんので、観劇された方々のご意見・ご感想・叱咤激励が、私ども活動の大きな原動力であり宝ともなっています。

インターネットやスマートフォン等の情報端末が普及し、人と人、社会のコミュニケーション手段は大きく変わりました。しかし、いつの時代でも、どんなに道具が進化しても人間の「心」は変わりません。ナマの舞台上で人形が子ども達の「心」

人形劇の合間には冷たいかき水を振る舞い、たくさん笑顔と笑い声に包まれて賑やかな一日となり、大盛況のうちに終えることができました。毎年、春と夏にはこうしたイベントを行っていますので、お近くに来られた際は、ぜひお立ち寄りください。



に語りかける物語には、テレビのバラエティ番組や無味乾燥なネットゲーム等では得られない生身の人間の温かさや面白さがあります。

子ども達にとつては年に一度、或いは生涯に一度の人形劇観劇会であっても、お金では計れない、豊かな情操を育む貴重な時間となると私は信じています。すぎのこの活動は、観劇される地域の皆様と全国の賛助会員の皆様のお力で継続されています。お住まいの地域で賛助会員としてご参加いただき、一定のご支援が集まれば、地域の子ども達に人形劇観劇会をプレゼントするよう企画も可能です。

未来を担う子ども達に、日本人らしい「思いやりの心」と「しなやかな感性と、優しく逞しい心」を今一度呼び覚まそう！ という願いで展開する私どもの活動に、ぜひご参加いただければ幸いです。

(清水 治)

園からの声

ごぼうのなみだ



開等、保育士としても勉強になりました。

■日の丸保育園(北海道札幌市) 子ども達に楽しかった？ と聞いたら、「いや、おもしろかった！」と答えました。

■帯広藤幼稚園(北海道帯広市) プロの作品に一同ひきこまれました。素晴らしかったです。

■潮見保育園(北海道網走市) 人形も舞台もすべてで、子ども達もすぐにひきこまれていました。おふたりで演じられていたとは信じられないぐらい広がりのある舞台だったと思います。終わったあと、子ども達が「また見たい！」と言っていました。とても楽しかったです。

■中川町幼児センター(北海道中川郡) 1才から就学前までの幅広い年齢の子ども達で観劇しましたが、その年齢なりに内容を理解していたと思います。話の筋がわからなくても、音楽や彩りに目と耳を向ける様子が見られ、小さいころからの観劇体験は必要だなと感じました。

■旭川隣保会第2保育所(北海道旭川市) スクリーンに映像を映してバックに使用したり、影を映したりと工夫されていて、子どもも保育士も一緒に楽しんでました。歌が聞こえてくると、子ども達が自然と手拍子をして、楽しんでいる様子がかがえましました。人形の動かし方や場面展

■まつば保育園(北海道札幌市) とても楽しく見ることができました。子ども達も、いつもにもまして集中してよかったです。時間もおつという間にすぎました。帰りのバスの中でも、観てきたばかりの人形劇の話がたくさんしてくれました。

■とまり保育所(北海道古宇郡) 内容がとてもおもしろい作品で、よかったです。音楽もよく、声もよく出ていました。バックの影絵と人形劇のコラボレーションがピッタリでステキでした。ただ作品と作品の間の手遊びに、もう少し工夫が必要に思いました。検討してくださいね。

たのきゅうわびみだ

■啓蒙保育園(福井県福井市) 「プロの劇団であるな」と高い評価が職員や他の人々から出ました。子ども達がの言葉のみに集中せず、ストーリー中心のしつかりとした演出、演技だけで時間をたつぷりとられたこと、すごいと思いました。本物を見ること、感じるものが小さい年齢や時期から必要です。

■善昌寺保育園(新潟県長岡市) 上演されたのが1つのお話だったので、中身が濃くよかったです。うわびみの顔が変化するところが、なんとも不思議でした。

■(新潟県長岡市) ちよっぴりこわくて、ハラハラドキドキした内容で、小さい子は泣いてしまう場面もありましたが、十分楽しめました。ありがとうございました。

■福井大学地域科学部付属幼稚園(福井県福井市) 内容は、年少でもわかりやすく、引きつけられるものでした(好評でした)。子ども達の反応がとてもよかったです。さすがプロだと思えるような声の使い分けに、感心して見えました。観劇後も、各クラスの話し合いで盛り上がり、特にへびのインパクトが大きかったみたいです。

■鹿苑第一保育園(福井県福井市) 子ども達はとても喜んで見ていました。職員も、ペープサートやパネルシアターなどをする時の声の出し方や抑揚のつけ方の勉強になりました。

■平泉保育園(新潟県佐渡市) うわびみの登場にみんな驚き、とても喜んでいました。昔話のよさをこれからも子ども達に伝えていってほしいと思います。うわびみが出て来るまでは途中飽きてしまい、集中できない子もいましたが、大きなうわびみが出てくると皆ひきつけられて、ものすごく集中して見入っていました。人形劇が終わったあと、保育園の人形を使って人形劇ごっこをしている姿が見られ、ほほえましかったです。

ごべー！ドードー

■南春日保育所(大分県大分市) 1才児は、なかなか保護者と一緒に劇場へ行って本物の人形劇を見る機会がないと思うので、よい経験になりました。

賛助会員募集!

すぎのこは今「税額控除認定法人」(認定法人への寄付金の一部は納税額から控除されます)を目指し、賛助会員募集中です。すぎのこの活動を側面から支援するだけで何の見返りも無い賛助会ですが、入会された方には会員証の外に、アンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」のバッジ(写真)をお贈りしています!



すくすくレモン(入会3年未満)



すくすくルビー(入会5年以上)



すくすくオレンジ(入会5年未満)

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 定款施行細則「賛助会規程」

- 賛助会に關し「賛助会規程」を以下に定める。
1. 賛助会に關する基本事項に關しては、定款第45条によるものとする。
 2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
 - (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円	以上
団体	年額	10,000円	以上
 - (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
 3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
 4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
 5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
 6. 会費制賛助会員が一年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が一年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
 7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
 8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもと企画し実施する事が出来る。
 9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に關して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
 10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名することができる。
 11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
 12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
 13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」にゲスト出演!

去る8月20日(月)午後9時から
のテレビ神奈川「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」に、当法人理事長小澤幸雄がゲスト出演しました。

国際的ソプラノ歌手佐藤しのぶ氏のソフトな司会と、ピアノ

後日、「佐藤しのぶさんが、皆様の感謝をこめて、ここに

人形)の顔を野菜で作って、その人形での『さようなら』は、番組に親近感がわきとても良かった」という評価に裏付けされたか、思わぬ方々からのご連絡や賛助会入会の申し入れなどもいただきました。

賛助会員の方からのお便り

もう何年も前のことですが、ある趣味のサークルで私は「すぎのこ」の方と御一緒し、以来すぎのこ新聞を度々拝見しておりました。

これまで演劇鑑賞の機会はありませんでしたが、大人になってから人形劇に触れたことはほとんどありませんでしたし、正直あまり関心もありませんでした。

そんなある日、平成20年5月のゴールデンウィークに開催の「池袋あうるすぽっと」での公演の案内をいただきました。私は知的障害者の福祉施設に勤務しているのですが、入所者の春のレクリエーションの行事で、観劇させていただくことになりました。

当日は、職員と入所者合わせて10数名ほどでうかがいました。入所者は大人ですが軽度の知的障害がある方々です。外出は問題ないのですが、初めての劇場での演劇鑑賞でしたので、ちゃんと落ち着いて見ていただけるか心配しておりました。

大きなスクリーンの絵話と人形劇「たにし長者」は、意外なほど静かに観劇してくれました。ただ、「かもとりごんべえ」のお話で、ごんべえさんがステージに出て来ると、その愛嬌のある表情が楽しかったのか、みんな大喜びで立ち上がって手を叩いたり、手をくちばしにして「グェ、グェ」とごんべえさんの歌と一緒に歌ったりしました。こんなに人形劇に夢中になってくれるとは思いませんでした。

会場は自由席でお客様で一杯でしたが、すぎのこのスタッフの方が私達の為に団体用の席を確保してくださり、安心して観劇することができました。

その日から、私も人形劇やそれを全国で公演している「すぎのこ」の活動に関心を持つようになり、少しでもお役に立てればと賛助会員に登録させていただきました。また、近くで公演がある時には、ぜひ人形劇を観劇したいと思います。

(都内在住N)

■世知原保育園(長崎県佐世保市)
子ども達がとつてもよい笑顔で、ずっと見ていたのがとても印象的でした。内容もよく、あつという間の時間でした。また、舞台の仕掛けが凝っていて、とても勉強になりました。

■あゆみ保育園(福岡県八女市)

舞台装置や人形類、小物等とてもよくできていて、大変参考になりました。お話の題材も「地球を守る」という壮大なテーマで刺激になり、子ども達にも話して聞かせたいなあ、と思いましたが、

■筑水幼稚園(佐賀県三養基郡)

子ども達は1才〜6才と年齢差があるので、少し難しいテーマではないかと思いましたが、昔話など、皆が知っているお話の方がよかったですかと思いましたが、どの子どももすいこまれました。

るようにお話の世界に入りこみ、その子なりの感じ方・捉え方で、受け止めていたようです。親子観劇(日曜観劇)にしたので、親子の会話も広がりました。

ねずみの嫁入り

■田尻保育園(新潟県柏崎市)

子ども達にわかりやすい内容で、20分くらいの作品2作品だったのでとてもよかったです。

■北鱒石保育園(新潟県柏崎市)

「ねずみの嫁入り」の話は単調になりやすいと思いましたが、風さんの場面の時、大きな動きを取り入れ、メリハリをつけたのがよかったです。

ほんわか劇場

■ひまわり保育園(山梨県西八代郡)

1人で3つも!と、どんな

テンポなのかとても楽しみにしていました。どれもリズムよく、子ども達も楽しめていたようです。

もう少し大きい音量でもよかったですかもしれません。

■春江おひさま保育園(東京都江戸川区)

1才児から5才児まで、全園児で楽しませていただきました。上演後各クラスで話題となり、5才児は楽しかったこと・印象のこったことを絵にして伝えてくれました。いつもは集中しない子も、よく見ていました。「やさしいライオン」は、しっかりと子ども達の中に悲しさが伝わりました。楽しさからわきあがる喜び、うれしさも大切ですが、悲しみや切なさもわかる子ども達に育ってほしいと思いました。

新人紹介 はじめまして どうぞよろしく！



菅谷香純

6月下旬に入団しました菅谷です。8月から「たのきゅうのうわばみたいじ」班で旅公演をしています。まだ、至らないことばかりですが、若さを120パーセント出して頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



橋本和枝

4月から入団しました橋本と申します。よろしくお願ひします。「とべー！ドードー」班に入れていただき、班の皆様にお世話をかけながら、1学期は九州地方を巡回しました。2学期は一瞬の出会いをちゃんと意識して、子ども達に楽しんでもらえるように頑張りたいたです。



諏訪明日香

6月下旬から入団しました諏訪と申します。まだまだ未経験のことばかりですが、楽しいことだらけで毎日、充実しています。9月に入って、「ねずみの嫁入り」「ずいてん」というお芝居をもって、首都圏を中

心に旅公演することになりました。不安もいっぱいですが、それ以上に今はワクワクしています。

新人訓練や稽古で積んできたことを生かして、今後いろいろなことにチャレンジしていこうと思いますので、みなさんよろしくお願ひ致します。



西條沙夜香

初めてすぎのこの研修所に入ったときは、あまりにもアウトホームな雰囲気につくりましたことを思い出しました。「旅一座」のようなものへの興味は少なからず私の中にあつたので、知らない土地へ行き、大好きなお芝居を通して、いろいろな人と出会えるのが、今から本当に楽しみです。まだ、稽古は始めたばかりですが、一生懸命楽しんで挑みたいと思っています。



中島圭和子

新人の中島です。入団して2ヶ月、初めてのことでただ戸惑いながらも、わくわくする気持ちを嬉しく思います。表現すること、人に伝えることに責任と感謝の心を持ち、初旅を頑張りたいたです。よろしくお願ひ致します。



香川洋平

今年の夏からすぎのこの制作に入りました。制作をやる前は俳優として1年と少しの間、子ども達に人形劇を届けてきました。俳優に比べると子ども達との距離が遠くなつてしまい、少し寂しい気もしますが、「子ども達に喜んでもらいたい」という思いは少しも変わっていません。慣れないことばかりで今は大変ですが、今まで出会ったたくさんの方々の笑顔思い出しながら頑張っていきたいと思ひます。

研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会（現財団法人JKA）の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」並びに埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ飯能研修センター」があります。

いずれの施設も緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地しています。音楽や演劇等の芸術文化活動はもちろん、どな



飯能研修センター



婦恋研修センター

たでも時間を気にせず、自由のびのびと、お使いいただける施設です。合宿や研修等で会場をお探の方は、ぜひご検討下さい。（利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用で



新作「わらしべ長者」公演が始まります。

すぎのこの最新作は、みんなが知ってる「わらしべ長者」です。「わらしべ長者」と聞くと、「ラッキーボーイのサクセスストーリー」とか、「私もあんな良い話ないかしら」などと簡単に思ってしまうがちですが、すぎのこが考える「わらしべ長者」はちよつと違います。主人公の正吉は貧しくとも明るく正直に生きる、根っからのまじめな好青年。それを見てい

たご先祖様が助け舟を出そうと、正吉にちよつとしたきっかけを与えます。そこから長者にまですなつたのは、ただの「幸運」ではなく、正吉の「努力」と「正直さ」なのです。正直者が馬鹿を見る世の中ではなく、一生懸命がんばればきつと幸せになれる。夢と希望を抱いて子ども達には杉の木のように真つ直ぐ育つてほしい。そんな願ひもこもっているのです。

お茶目なご先祖様や、かわいい赤ちゃん、立派な馬に、こわいお侍などなど、たくさんの人形たちが大活躍のとても賑やかな舞台に仕上がっています。

10月に九州地区を皮切りに、来年度は北海道や関東地区もまわる予定です。ぜひ皆様ご期待ください！（制作）白石 高章

等、詳細につきましては、左記へお問い合わせ下さい。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

婦恋研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/support@suginoko.org

または03(3984)2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または042(971)4121

(創造部)

劇団研究生を募集しています

すぎのこでは、子ども達に夢を届けるお手伝いをしていただける劇団員（人形劇俳優・制作者）の仲間を募集しています。全国の幼稚園・保育園や各種イベント会場・劇場などで人形劇の公演活動を通じ、たくさんの方に出会える事がこの仕事の魅力です。巡回公演が中心ですので、人形劇俳優は長期間の出張が可能な方、子ども好き旅好きで興味を持たれた方はぜひ、私達の活動にご参加ください。なお、未経験の方は研修・指導を行います。

条件や活動内容等、詳しくは事務局宛ご連絡ください。E-mail/support@suginoko.org または03(3984)2396

活動記録(平成24年7月～9月)

7/31 第一期全国巡回公演終了

8/26 創造部公開クネプロ

8/31 第二期全国巡回公演開始